

大地のめぐみを未来へつなぐ

JAIいわて平泉 広報誌

KOSHERU



こしえる

2025. **11** 霜月 No.141



特集 **農業を始めよう！**

中尊寺「紅葉銀河」

平泉町の「中尊寺」は、紅葉の名所としても知られています。表参道の月見坂には、樹齢300年を超える杉の巨木の間に埋めるイロハモミジやヤマモミジが見事に紅葉し、世界遺産を彩ります。

紅葉シーズンに行われる「紅葉銀河」は、数百灯のライトが紅葉と歴史的建造物を照らし出します。ライトアップは、午後4時30分から午後6時30分まで行われ、幻想的な世界を作り出します。令和7年は、10月25日(土)～11月9日(日)まで行われました。



(使用許可済)

今月の表紙

なかよし Kid's

齊藤李栄ちゃん(6)
大東小学校1年



なかよし Kid's

千葉元稀くん(7)
大東小学校1年

佐藤奈月ちゃん(7)
大東小学校1年



だいすきなひと

妹の深月ちゃん(0)。優しいお姉ちゃんになりたいと話します。

特集 農業を始めよう！

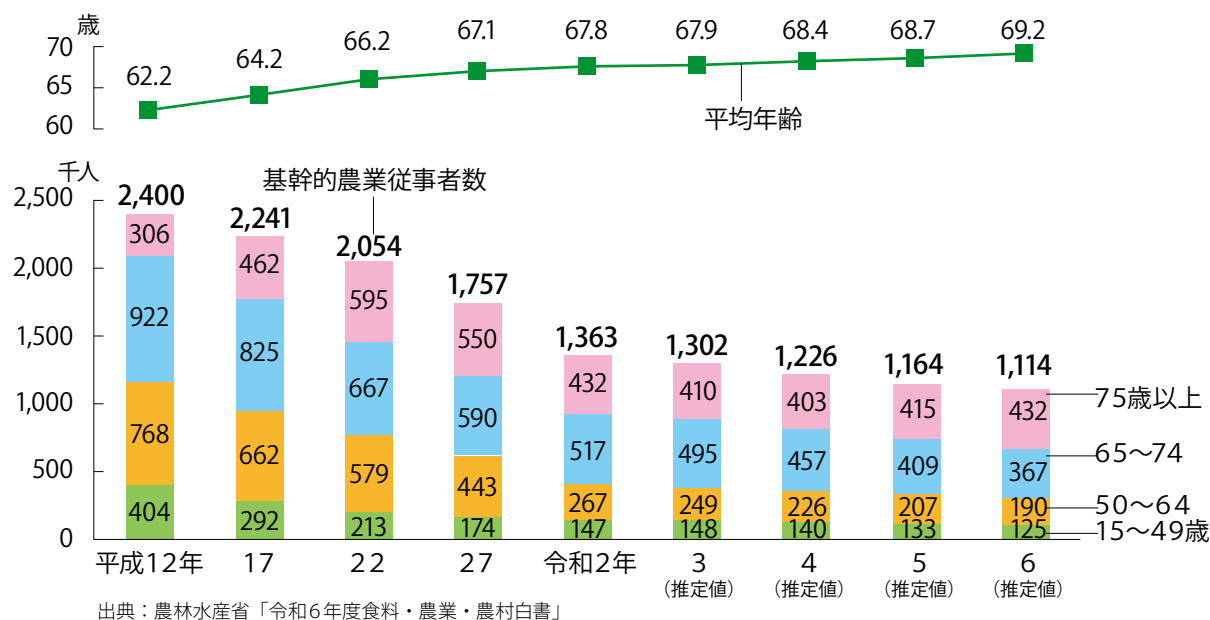
日本の農業が農業者の減少・高齢化という課題に直面する中で、わが国を支える産業として発展させていくためには、担い手の育成・確保に向けた取り組みが必要不可欠です。そのような中、JAでは新規就農者確保に向け関係機関との連携を強化し、就農相談から就農後の定着まで各種支援に取り組んでいます。今回は、JAが展開する新規就農支援制度について紹介します。

国内の農業者数とJA管内における新規就農者の状況

農林水産省の調査によると、主に自営農業に従事する「基幹的農業従事者」の数は、平成12年の240万人から、令和6年には111万4000人まで減少しています。また、令和6年時点での基幹的農業従事者の平均年齢は69.2歳、65歳以上の割合は71.7%を占めており、農業者数の減少と高齢化の進行が全国的な課題となっています。

一方、JA管内における令和4～6年の新規就農者数は合計54人で、そのうち約8割を20～40代の若手が占めています(図2)。また、新規就農者の形態区分を見ると、最も多いのが農業雇用就農者となっています。農業法人等に雇われる形での就農形態で、法人などで経験を積んでから独立を目指せるといった利点があります。

図1：基幹的農業従事者数と平均年齢



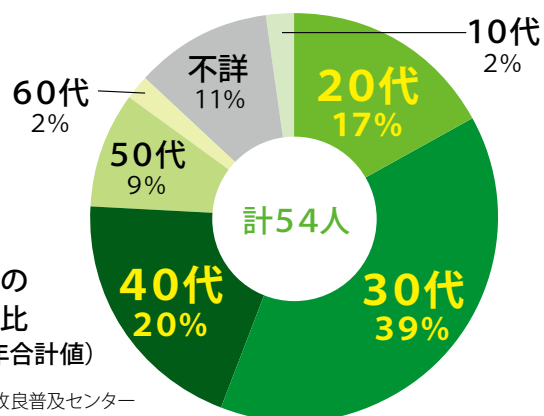
新規就農者の形態区分 (単位：人)

	R4	R5	R6	合計
新規学卒者	0	1	0	1
Uターン	6	5	4	15
新規参入	6	1	5	12
農業雇用	12	9	5	26
合計	24	16	14	54

資料：一関農業改良普及センター

図2：新規就農者の年代別人数比(令和4～6年合計値)

資料：一関農業改良普及センター
データをもとにJAいわて平泉作成



もくじ

2025
11
No.141

花鳥風月

「中尊寺「紅葉銀河」」

特集

農業を始めよう！

エリアニュース

「団体認証継続に向け審査」他

こしえるびと

佐藤一樹さん(関市山目町)

営農セレクト

「ポリエチレン、塩化ビニール、その他プラスチック類などの農業用の廃プラスチックを回収します」他

発信！情報ぐらび

・あぐりジャーナル 他

・移動金融店舗舗車

『のびのび号』運行スケジュール

INFORMATIONほこりLINE

「JAいわて平泉 実りの定期貯金 特別金利キャンペーン」他

旬彩の恵み

・地産地消のお店

もぐもぐ

「JA園芸課開催「園芸だよ！全員集合」より」

果樹は永年性作物、食味重視の

おいしいフルーツを生産しています！

16

15

14

13

12

10

8

6

3

2

FMあすも JA番組
「そ〜じゃ＊い〜じゃ」
毎週金曜日
お昼12時40分～ 絶賛放送中！



マイナビ2026
マイナビでエントリー受付中
JAいわて平泉の採用情報です。
気軽にご覧ください。



就農するための支援制度があります

一関市、平泉町では、新規就農する方の研修などを支援しています。

一
関
市

○新規学卒者等就農促進支援事業

J Aの臨時職員として働きながら、座学研修や実地研修を受けます。

対 象 者：研修開始日の年齢が49歳以下で、一関市内での就農を希望する方

期 間：新規学卒者は2年以内、その他は1年以内

○意欲ある農業担い手支援事業（家賃補助）

対 象 者：一関市内に転入後2年を経過していない就農希望者または認定新規就農者

支援内容：家賃の半額（上限2万円／月）

支援期間：最長2年間

お問い合わせ先 一関市農政推進課 ☎21-8225

平
泉
町

○平泉町新規就農者支援事業

平泉町内で新規就農する方が、町内で研修を受ける際に補助金を交付します。

対 象 者：平泉町内に住所を有する18歳～60歳で、新規就農する方

町内の受入農業経営体で月8日以上研修を受け、研修期間が6カ月以上の方
事業終了後、町内で2年以上居住し、就農できる方

支援内容：研修支援金 5万円／月 住居費支援金 家賃の半額以内（上限2万円）

支援期間：2年以内

お問い合わせ先 平泉町農林振興課 ☎46-5564

国
の
支
援
策

○経営開始資金

対 象 者：認定新規就農者（就農時49歳以下で独立・自営就農を開始した方）

支 援 額：12.5万円／月（150万円／年）

支援期間：最長3年間

○経営発展支援事業（機械・設備導入支援）

対 象 者：認定新規就農者（就農時49歳以下）

支 援 額：補助対象事業費上限1,000万円（経営開始資金支援対象者は上限500万円）

補 助 率：県支援分の2倍を国が支援（国の補助上限は全体の1／2）

聞いてみました / Interview



すがわら そういちろう
菅原 宗一郎さん (35)
一関市滝沢
令和5年就農／トマト16畝



Q. 農業を始めたきっかけは何ですか？

A. 出身は一関ですが、仕事のため神奈川に住んでいました。結婚を機にUターンし、父親が水稻栽培をしているため農業に興味を持つようになりました。

Q. 新規就農ワンストップ相談窓口をどうやって知りましたか？

A. 就農の準備を始めるにあたって、一関市にはどんな就農支援制度があるのか市のホームページを調べてみたところ、ワンストップ相談窓口というものを知りました。

Q. 農業を始めて感じたことを教えてください。

A. 年数を重ねて理解が深まるほど、育てることの難しさを感じます。一方で、普段の管理でしっかり手をかけてあげた分だけ、品質や収量に反映されるところにやりがいを感じます。

Q. 今後の目標は何ですか？

A. 現在、単収を高く維持できているので、高単収を維持したまま面積拡大に挑戦したいです。

Q. どんな方に農業をオススメしたいですか？

A. 実家で農業をしているなど農業とのつながりがある方ですが、「自分のペースで働きたい」「目標に向かってひたむきに頑張れる」方には強くオススメです。

就農希望者を手厚くサポート

J Aや岩手県、一関市、平泉町で構成する一関地方農林業振興協議会は、就農希望者の相談をワンストップ体制で受け、就農するにあたっての不安要素の解決に向けて、専門的なアドバイスをいたします。

就
農
相
談

研
修

就
農

◎新規就農ワンストップ相談窓口

毎月第2水曜日に開設しています。農業で自立したい方や農業法人で雇用就農したい方など、新規就農を目指す方に向けて、各種研修や助成事業の紹介など、関係機関、団体が一堂に会し、きめ細やかに対応します。

- ・相 談 日 毎月第2水曜日 一人当たり1時間程度
- ・相談申込 相談日の5日前までに関係機関にご連絡ください。

一関市農政推進課	☎21-8225
平泉町農林振興課	☎46-5564
一関農林振興センター	☎26-1413
一関農業改良普及センター	☎52-4961
J A営農振興課	☎34-4001



令和6年度の相談窓口の様子

◎園芸だよ！全員集合

J Aでは、農業に興味のある方や、これから農業を始めたい方を対象に、野菜や花など園芸作物について知っていただく機会を設けています。今年度は、11月30日（日）に開催します。詳しくは本誌14ページをご覧ください。

J A園芸課 ☎34-4003

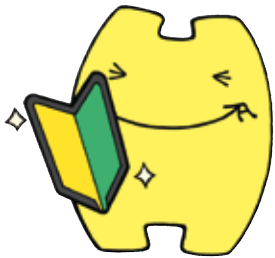
◎各種研修制度

○研修受入経営体での実践研修

- ・先進農家 ・農業法人

○座学研修

- ・県立農業大学校新規就農者研修
- ・普及センター等研修会
- ・J A部会指導会



◎就農後も手厚い支援

※「TAC」が定期的（月1回程度）に訪問する他、一関農業改良普及センターやJ A園芸・畜産担当者による訪問指導があります。必要に応じて関係機関と連携を取り、制度の情報提供や技術指導をしています。

※地域農業の担い手のもとへ出向く担当者



玉串をささげる佐藤組長

10/17

家畜の御霊に感謝ささぐ

畜霊祭をＪＡ藤沢宮農経済センターの牛魂碑前で行いました。生産者や関係機関が、管内の畜産振興に貢献した家畜の御霊に感謝をささげました。佐藤一則組長は、「畜産に関わる全員で力を合わせて、この難局を切り抜け畜産振興につなげた」と話しました。



要請書を佐藤善仁市長に手渡す佐藤一則組長

10/3

適正な価格形成など要請

ＪＡは営農振興に関する要請書を岩手県と一関市、平泉町へ提出しました。生産コストに見合った適正な米の価格形成を国に働き掛けることを要望した他、園芸部門では水源確保工事の助成、畜産農家の経営継続や牛舎の暑熱対策への支援を要請しました。

9/24

団体認証継続に向け審査

ＪＡブランド米部会

ＡＳＩＡＧＡＰの団体認証を継続するための維持審査に臨みました。「金色の風」と「銀河のしずく」を生産し認証を取得している７農場のうち、３農場で審査が行われ、栽培管理出荷記録などの書類、作業機械や農薬、肥料の管理状況などの審査を受けました。



ＡＳＩＡＧＡＰの継続に向け審査を受ける農場関係者

9/26

米卸社員が生産者と交流



指導を受けながらコンバインを操縦

米卸の（株）ヤマタネは（農）みらい農産（一関）の圃場で稲刈り交流会を行いました。ヤマタネの社員研修の一環として行われ、５月には田植えを体験。みらい農産社員やＪＡ米穀課職員の指導を受けながらコンバインを操縦し、稲刈り作業を体験しました。

9/29

中生種の適期収穫を指導

ＪＡ果樹部りんご専門部



収穫時の注意点を確認する生産者

リンゴ中生種収穫指導会を管内３会場で開催、中生種の収穫のポイントや栽培管理について確認しました。一関農業改良普及センターの遠藤歩美上席農業普及員は「農薬散布後は、規定の日数が経過したことを確認してから収穫するように」と呼び掛けました。

9/26

鎌使い真剣に稲刈り体験

赤荻小学校（一関）



稲を刈り取ってホニオに掛ける児童

５年生４３人は、阿部邦弘さん（一関）の指導で稲刈りを体験しました。児童は真剣な表情で鎌を使って稲を刈り取り、上手に束ねることができると笑顔を見せました。

9/28

生協組合員と稲刈り交流

都里夢米生産振興協議会（一関）



生協組合員と生産者が稲刈りで交流

生活クラブ生協岩手との稲刈り交流会を開き、手作業で稲刈りを行い、収穫を喜びました。昼食には「銀河のしずく」のおにぎりといものこ汁を食べながら交流を深めました。

9/27

地元産秋の味覚楽しんで

磐井河原いもこ会実行委員会



サトイモの茎とネギをカットし開会を祝う関係者

第４２回磐井河原いもこ会が一関遊水地記念緑地公園で始まりました。市内外から友人同士のグループなどが多数利用し、管内の食材を使った「いものこ汁」を堪能しました。

10/9

稲刈り体験出来秋に感謝

川崎小学校



稲を刈り取り束ねる児童

５年生１７人は、（農）門崎ファームが管理する「メダカ田んぼ」で稲刈り体験学習を行いました。たわわに実った稲を手鎌で刈り取り束ねてホニオに掛け、出来秋を喜びました。

10/14

ドローンで小麦種子散播

（農）プロファ一関



種子散播のために空を飛ぶドローン

ＪＡ全農いわてへ業務委託し、ドローンで小麦の種まきを行いました。業務委託は今年で２年目。自給飼料の確保のため、ホルクロップサイレージとして利用されます。

10/9

牛と触れ合い酪農に理解

岩手県牛乳普及協会



子牛と触れ合う児童

酪農出前教室を一関小学校で開き、２年生９２人が授業を受けました。酪農家の平間一夫さん（一関）の指導で乳牛や子牛と触れ合い、酪農や牛乳への理解を深めました。

9/18

レク通し部員交流深める

ＪＡ女性部千厩中央支部



一生懸命に競技に挑む部員

レク大会を開き、千厩町の奥玉、小梨、千厩の３支部約３０人が参加しました。風船割りリレーや応援合戦、○×クイズなど６種目に挑戦し、心身共に充実した様子を見せました。

9/22

元気に過ごせるようお願い

ＪＡハートフル川崎支部



タオルを利用者に贈呈

寿松苑デイサービスセンター（川崎）を訪れ、川崎町女性協議会と協力して歌や踊りを披露した他、会員が集めたタオルを贈り、利用者が元気に過ごしてほしいと願いました。

9/16

認知症サポーターを理解

ＪＡハートフル室根支部・千厩支部・大東支部



脳トレを交えながら講習を受ける参加者

３支部合同で認知症講話を開きました。認知症サポーターの役割や市の制度、認知症の症状などに理解を深め、認知症の人に声かけする時のポイントなどを学びました。



PROFILE

佐藤 一樹さん (24)
Kazuki Sato
一関市山目町

2001年一関市山目町生まれ。地元の高校を卒業した19年に就農。一関遊水地で「ひとめぼれ」の生産を手掛ける。水稻14%。父、弟と3人暮らし。

黄金の郷

こしえるびと

つむぐストーリー vol.130

高い志のもと、日々“キラリ”と光る活動をしている人たちがいる。
“黄金の郷”いわて平泉を支える、魅力溢れる“こしえるびと”の
メッセージをシリーズで紹介していく。

両親がいない中での就農

穏やかな秋晴れの下、見渡す限り黄金色に染まった田んぼ。佐藤一樹さんは真剣な面持ちで、たわなに実った稲穂をコンバインで一心に刈り進めていく。

代々続く水稻農家に生まれた一樹さん。農繁期には田植えや稲刈りの手伝いに駆り出された。幼い頃、機械を操作する父の茂さんの膝の上に乗せてもらった記憶もある。いつしか将来は家を継ぐだろうと思うようになり、本格的に就農の準備を始めた高校3年生の時、突如として母の洋子さんを亡くしてしまう。「ここで立ち止まっている場合ではない」と前を向き準備を進めるも、今度は茂さんが入院。両親が不在の中卒業を迎え、同時に農業の世界に足を踏み入れることとなった。

たくさんの支援に感謝して

右も左も分からない中、農業の道を独り歩み出した一樹さんは、茂さんと交流があった近隣の農家の協力を得ながら、水稻栽培のいろはを教えてもらった。日常的な圃場の管理に、農業機械の操作。一つ一つ、できることを必死に積み上げていった。茂さんが退院してからは、周囲の手を借りながらも親子二人三脚で農業に励む日々。就農から7年目となった今、「ようやく田んぼの管理を一人でできるようになった」と胸を張る。茂さんから一樹さんへの経営移譲を行い、経営者としての勉強も加わった。自身の成長を振り返り、「たくさんの支援がありここまで来ることができた。今になって、両親の偉大さが身にしみる」と感謝と尊敬を口にする。

地域と農業のために

JA一関青年部中里支部や中里まちづくり協議会などの団体に所属し、地域を盛り上げる活動にも積極的に取り組んでいる。青年部では、龍澤寺こども園や中里小学校での食農教育をはじめ、他青年部との交流会にも参加。まちづくり協議会では、地域の風景を使ったカレンダーの作成や鶏舞の継承活動などに携わっている。

一樹さんは将来に向け、栽培面積の拡大を視野に入れている。「広く平坦な土地はスマート農業と相性がいい」自動操舵機能搭載の機械や、圃場の水管理ができるアプリケーションの導入を考えている。「面積を拡大するにはスマート農業が必要不可欠」と意気込む一樹さん。地域と農業の振興のため、前に進んでいく。

水稻農家として成長したい

一関市山目町

佐藤 一樹さん

生産資材ひろば

水稻農薬回収のお知らせ

令和8年産用の水稻防除体系を見直し除草剤の品目を変更したことから、令和7年まで使用してきた下記品目の返品を受け付けます。

受付期間 令和7年12月8日(月)～12日(金) (5日間)
午前8時45分～午後4時30分まで
※上記期間以外は受け付けしませんのでご注意ください。

受付場所 JA各営農経済センター
※供給伝票(納品書)を併せてご持参ください。
供給伝票(納品書)が無い場合は、納品確認に日数を頂きます。
※代金は後日、所定の口座に振り込みさせていただきます。

受付品目 初中期一発除草剤 「トップガンR」
(1号粒剤、豆つぶ250、ジャンボ、フロアブル)

受付条件 ①当JAより購入されたもの(伝票で確認します)
②未使用品(封が切れていないもの)
③農薬の使用期限が有効なもの
④再販売ができる状態のもの、極端な汚損が無いもの(常識の範囲でお願いします)

※農事組合法人・集落営農組織・農家組合等を通じて供給されたものは、各法人組織・組合を通じ、まとめてご返品ください。(個々への返金ができないため)

組合員の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ JA各営農経済センター



岩手ブランド米
新規栽培希望者募集!!

岩手が誇るブランド米「金色の風」「銀河のしずく」の新規栽培希望者を募集します。それに伴い、新規栽培希望者に向けた説明会を開催いたします。

「金色の風」栽培説明会
日時 令和7年11月25日(火) 午前10時～
場所 JA米集出荷センター 輝

「銀河のしずく」栽培説明会
【一関会場】
日時 令和7年11月25日(火) 午後2時～
場所 JA米集出荷センター 輝

【山谷会場】
日時 令和7年11月25日(火) 午後6時～
場所 一関市巖美市民センター 山谷分館

【大東会場】
日時 令和7年11月28日(金) 午後2時～
場所 JA大東支店

「金色の風」「銀河のしずく」はどんなお米？
金色の風

2000種もの系統からおいしい遺伝子を特定して交配し、食味検査を繰り返してたどり着いた究極のお米です。県内でも良質米の産地である県南地区に地域を限定し、選定基準を満たす農家のみが栽培できるお米です。

銀河のしずく
岩手県が10年の歳月をかけて開発した品種で、一粒一粒が透き通るような白さとつやつやとした輝き、ほどよい粘りと軽やかな食感が特徴的です。さまざまな料理に合わせやすいバランスの良さから、多くの米愛好家を魅了しています。

JAではブランド米のさらなる生産規模の拡大やPR活動を行ってまいります！

営農TOPICS

ポリエチレン、塩化ビニール、その他プラスチック類などの
農業用の廃プラスチックを回収します

回収日時および回収場所

回収日時	回収場所
12月3日(水) 午前9時～午後3時	・JA東部園芸センター(大東) ・JA南部園芸センター(藤沢)
12月6日(土) 午前9時～午後3時	・JA一関営農経済センター ・JA花泉営農経済センター ・旧JA平泉ライスセンター

回収の種類および概算料金

種類		概算料金
ポリエチレン	肥料袋、育苗箱	77円/kg
	ポリエチレンフィルム マルチフィルム 牧草用ラップシート	汚損なし 77円/kg 汚損あり 150円/kg
塩化ビニール	ハウス用ビニール	77円/kg
その他プラスチック類	ブルーシート 塩化ビニール管他	150円/kg

※塩化ビニール管は、1本50センチ程度に切ってください
※処理料金は概算単価のため、変更になる場合があります

詳しい内容は11月配布のチラシをご覧ください。

一関地方農林業振興協議会 園芸特産部会

お問い合わせ JA営農振興課 ☎ 34-4001、JA各営農経済センター
一関市生産流通課 ☎ 21-8427、平泉町農林振興課 ☎ 46-5564

【搬入例】(ポリエチレン、肥料袋)



※注意点
・分類ごとに荷造りしてください。
・塩化ビニールとポリエチレンは絶対に混ぜないでください。
・肥料袋にマルチなどを詰めないでください。



和牛枝肉販売成績 令和7年10月

	格付	雌			去勢			上物率 (格付4等級以上)
		枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	
JAいわて平泉販売分	5等級	420	2,284	959,280	532	2,211	1,176,252	100.0%
	4等級	464	2,104	946,256	516	2,080	1,073,280	
	3等級							

販売頭数 28頭 ※10月24日までの実績です ※枝重、単価、販売額は平均値

出荷月間最高販売牛
血統紹介

雌の部
幸忠栄×平茂晴×百合茂
A4 533kg 2,100円

去勢の部
華春久×百合茂×安平
A5 637kg 2,102円



県南子牛市場 令和7年10月9日

※単位：円(ただし高値・安値は千円) 税込みです。

支 部	雌				去勢				合計		
	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	平均価格	前回比(%)
一 関	18	693	523	589,539	13	772	601	671,508	31	623,913	102.7%
花 泉	30	820	332	601,663	34	972	403	691,156	64	649,206	96.6%
平 泉	2	668	568	617,650	5	854	638	725,560	7	694,729	106.0%
千 厩	15	681	532	598,987	19	873	562	696,416	34	653,432	103.9%
藤 沢	2	699	651	674,850	3	660	613	639,467	5	653,620	109.2%
大 東	8	719	567	617,238	13	917	604	725,831	21	684,462	110.3%
東 山	11	828	558	662,800	7	826	630	748,471	18	696,117	106.2%
室 根	11	706	554	632,900	10	728	568	664,290	21	647,848	96.8%
川 崎	2	671	523	596,750	3	745	689	719,767	5	670,560	101.5%
合計・平均	99	828	332	612,278	107	972	403	696,115	206	655,824	102.0%

10月市場

最高販売額の
血統構成

雌 父：菊安舞鶴
母の父：百合茂
祖母の父：安福久(東山)

去勢 父：貴隼桜
母の父：百合白清2
祖母の父：安福久(花泉)

移動金融店舗車 『このみん号』 運行スケジュール



取扱業務

貯金の入出金（現金払戻の限度額を**お1人あたり30万円**とさせていただきます）、定期積金の掛込、貯金通帳の記帳・繰越、電話料金・水道料金等の公共料金（電気料金除く）、県税・市税・町税等の納付、相談業務（取次業務内）

*運行スケジュールについては、天候その他諸事情により、予告なく変更・中止させていただく場合がございます。ご了承ください。

お問い合わせ
JA金融課 ☎23-3007

12月 上段：午前(10:00~11:30)、下段：午後(13:00~14:30)

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
厳美出張所	川崎出張所	奥玉市民センター	永井出張所	厳美出張所
萩荘支店	—	室根支店	黄海支店	—
8	9	10	11	12
厳美出張所	川崎出張所	奥玉市民センター	永井出張所	厳美出張所
萩荘支店	津谷川ふれあい店	室根支店	黄海支店	—
15	16	17	18	19
厳美出張所	川崎出張所	奥玉市民センター	永井出張所	厳美出張所
萩荘支店	—	室根支店	黄海支店	—
22	23	24	25	26
厳美出張所	川崎出張所	奥玉市民センター	永井出張所	厳美出張所
萩荘支店	津谷川ふれあい店	室根支店	黄海支店	—
29	30	31	お休み	
お休み	お休み	お休み	お休み	

※旧店舗名で記載しております。

かがやく人を紹介します

すまいるギャラリー



夫婦
二人三脚

及川 ときお 時夫さん(78)

栄子さん(76)

室根町津谷川

仕事を趣味に



須川にて
(平成27年)

及川さんご夫婦は昭和49年にご結婚され、3人のお子ともに恵まれました。お二人とも地元企業に就職し、令和4年まで勤務した傍ら、農家としても頑張っていました。若い頃は地域のスポーツ大会や卓球、バレーボールなどで活躍しました。現在は小菊10ア、水稻20アを栽培しながら、娘さんやお孫さんと温泉や旅行を楽しんでいます。「体が動くうちは大好きな農業を続けていきたい」と笑顔で語るお二人です。

皆さんの声 お届けします!

近所で栗拾いをしたら、予想以上にたくさん採れておいしくいただきました。やはり「食欲の秋」はいいですね。
花泉町 Aさん(40代)

最近、クマの出没で人身被害が多発し、地域行事にも影響が出ています。秋の野山の散策やウォーキング行事の開催要項には、「クマ出没時は中止」と明記するようになりました。「雨天中止」より必須事項です。
千厩町 Mさん(70代)

10月号のクッキングに掲載された「蒸し鶏」は、意外と簡単に出来ておいしかったです。タマネギの 슬라이スを敷いて食べましたが、それも良かったです。
大東町 Oさん(60代)

今年も柿がなりましたが、水不足のせいか小粒です。でもおいしいです。
平泉町 Sさん(70代)

今年は暑さのためか豆が不作だったため、毎年楽しみにしている自家製納豆が作れません。食べられなくて残念です。
室根町 Mさん(40代)

孫とサツマイモの収穫をしました。形が面白く、キリンやパンダ、ゾウと動物の名前を付けて楽しく収穫をしました。
中 里 Oさん(60代)

くらしのヒント! JA事業Q&A



アグリマイティー資金って何ですか?



JAでは、農業の明日を担う皆さまの運転資金、設備資金などの資金ニーズに応えるため、さまざまな資金をご用意しております。

アグリマイティー資金は、農業分野の多くの資金使途に対応するオールマイティー資金です。農業を営む方が対象で、用途は農機具関連全般（運転資金、設備資金等）、農地購入、農業施設（ハウス、畜舎）、農機具、家畜導入、果樹等の植栽育成、農業利用の発電・蓄電設備取得等幅広く対応しています。

詳しくは、JA各支店
または融資課までお問い合わせください。

融資課 佐藤 惣江



ケアコンシェルジュ



栗やドングリなどを
レンゲで拾って数を競
い合うゲームをしまし
た。手を動かす良い運
動になります。

栗拾いゲームで収穫の秋



〒029-0803 一関市千厩町千厩字境田153-12
TEL 0191-52-5668



JAデイサービスセンター



〒021-0901 一関市真柴字原下4-1
TEL 0191-31-1538

ファーマーズでお買い物

秋の買い物ツアード
JAファーマーズいわ
て平泉に行きました。
秋の旬をみんなで楽し
みました。

発信! 情報 ぶらざ

あぐりジャーナル

“つくる”をテーマにJA役員が思いを綴ります

米本来の価値



理事
千葉 広
(花泉)

酷暑で心配された本年産米も収量、品質共にひと安心できる状況ではないかと思えます。さて組合員の皆さまは、昨年から続く米価の高騰をどのように感じておりますか? 本当に高騰なのでしょうか? 私たちは、米の生産過剰により昭和45年から国の指導の下、減反に取り組んでまいりました。当時の最高値は2万4000円ほどで今の2割安が50年前の米価です。逆を言えば、半世紀を経過する中で米価は、2割しか上

がっていないこととなります。作付けする水田はどんどん減り、生産を調整しても米価は下がり続けてきました。米価は市場原理に委ねられ、最安値では9000円を切る時代もありました。令和の米騒動を機に米本来の価値を評価する価格の形成を行わなければ、国民の主食を海外に委ねることになるのではと、危機感を抱いております。JAも組合員の安定した営農を構築できるよう運動を強化していきたいと考えます。



おかずや いっさい

住 所 平泉町平泉字志羅山 112-17
営業時間 11:00 ~ 14:00
定 休 日 日曜日
電 話 080-9413-2565



（お店から一言）

「平泉町内の農産物で特産品を作りたい」という思いで発足した平泉農産企画女子プロジェクトが、総菜を製造、販売するお店を今年9月にスタートしました。プロジェクトで力を入れている「和がらし」をはじめ、町内産の野菜をふんだんに使った総菜を提供します。どうぞお気軽にお買い求めください。

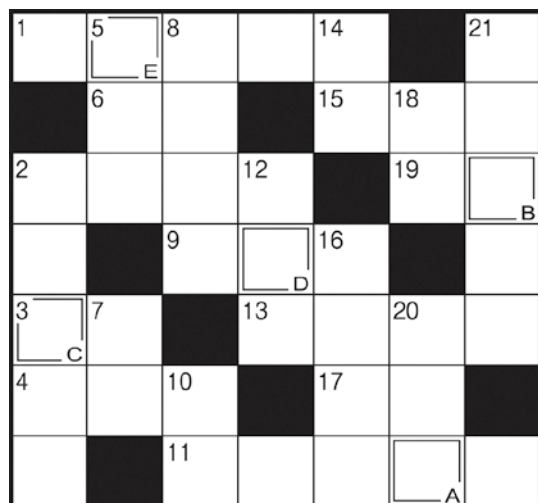
旬彩の恵み



季節のグラタン (2個入り) 300 円 (税込)
平泉からし焼売 (3個入り) 350 円 (税込)
平泉からし餃子 (5個入り) 400 円 (税込)



クロスワード◎パズル



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は？

正解者の中から10名に図書カード（500円分）をプレゼントします。

〒021-0027 一関市竹山町7-1
JAいわて平泉 総合企画課 まで

ご応募は FAX (21-0242)、Eメールでも受け付けます。
Eメールアドレス kosheru@ja-iwatehiraizumi.or.jp

締切日 令和7年11月26日(水)(当日消印有効)

皆さまからのご応募お待ちしております。

当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

郵便はがきの裏に次の①～③をご記入の上ご応募ください。

- クイズの答え
- 身近な話題や本誌へ一言
- あなたの住所、氏名、年齢

※ご応募いただいた個人情報、当選者へのプレゼント発送に利用させていただきます。また、お寄せいただいた身近な話題は「皆さんの声お届けします！」コーナーに掲載させていただく場合があります。

INFORMATION ほっとLINE

JAいわて平泉 実りの定期貯金 特別金利キャンペーン

キャンペーン期間 令和7年12月30日(火)まで

定期貯金 お預入額10万円以上

店頭金利 **+0.15%** 金利上乘せ!

※窓口でのご契約が対象となります。

お問い合わせ JA各支店または金融課 ☎23-3007

農業応援祭改め

令和7年度 収穫感謝祭を開催します！

管内で生産された品質・食味共に良好な、贈答用リンゴ（サンふじ、シナノゴールドなど）の販売を行います。その他、新米やりんごジュースも取りそろえ、皆さまのお越しをお待ちしています。

開催日時 令和7年11月23日(日・祝)

午前9時30分～午後2時

開催場所 JA東部営農振興センター
(一関市大東町摺沢字菅生前 61-3)

内 容 贈答用リンゴ予約・発送受け付け
新米・りんごジュースの販売など

※開始時間帯は、大変混雑することが予想されます。混雑時は、案内・会計共にお時間かかります事をご了承ください。

お問い合わせ JA園芸課 ☎34-4003
(担当 村上、藤野、千葉)



2025 JAいわて平泉 一関ふるさと便 「冬の便」お申し込み受け付け中!!

◇お申込期間 12月11日(木)まで

◇お申し込み方法

一関・花泉・平泉地区のJA各支店に備え付けの申込用紙にご記入いただき、JA各支店、郵便局で料金をお支払いいただくと申し込み完了です。

◇お取扱商品（一部）

新米「ひとめぼれ」、新米「金色の風」、曲がりネギ、リンゴ、ソーセージの詰め合わせ、いわて南牛肉、JAりんご・とまとジュースなど

◇発送日

11月12日(水)～12月17日(水)(毎週水曜日発送)

お問い合わせ JA一関営農経済センター(一関ふるさと便実行委員会)
☎23-5100 FAX 23-2278

2025園芸だよ!全員集合を開催します

野菜、花きの新規栽培者向け説明会を開催します。品目担当者から、栽培概要と収支の説明、個別相談を行います。ご興味のある方はお気軽に会場にお越しください。



開催日 令和7年11月30日(日)

内 容 品目ごとの栽培概要と収支説明、個別相談
(トマト、キュウリ、ピーマン、ナス、ミニトマト、ネギ、イチゴ、小菊、リンドウ、シイタケ)

場所・時間 ・JA西部営農振興センター(一関市中里字上大林 157-1)
午前10時～正午
・千厩農村環境改善センター(千厩町千厩字上駒場 360-4)
午後2時～午後4時

その他 参加費無料・事前申し込み不要
当日参加できない場合でも、ご連絡いただければ担当者が伺います。

お問い合わせ JA園芸課 ☎34-4003 (担当 藤代)

税金セミナー(相続税)を開催します

知って得する! 知らなきゃ損する?! 相続税の基本を、税理士の穀田有一先生が分かりやすく説明します。

日 時 令和7年12月3日(水) 午前10時～正午

場 所 JA西部営農振興センター(一関市中里字上大林 157-1)
人 数 先着50名(事前予約制です。JA各支店へお申し込みください)
※先着順につき、ご希望に添えない場合があります。

お問い合わせ JA各支店へ

資材店舗臨時休業のお知らせ

棚卸のため、下記日程について臨時休業とさせていただきます。利用者の皆さまにはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

休業日 11月29日(土)

対象店舗 JA一関地域資材センター、JA各営農経済センター

「家の光」「地上」「ちゃぐりん」購読者募集中!

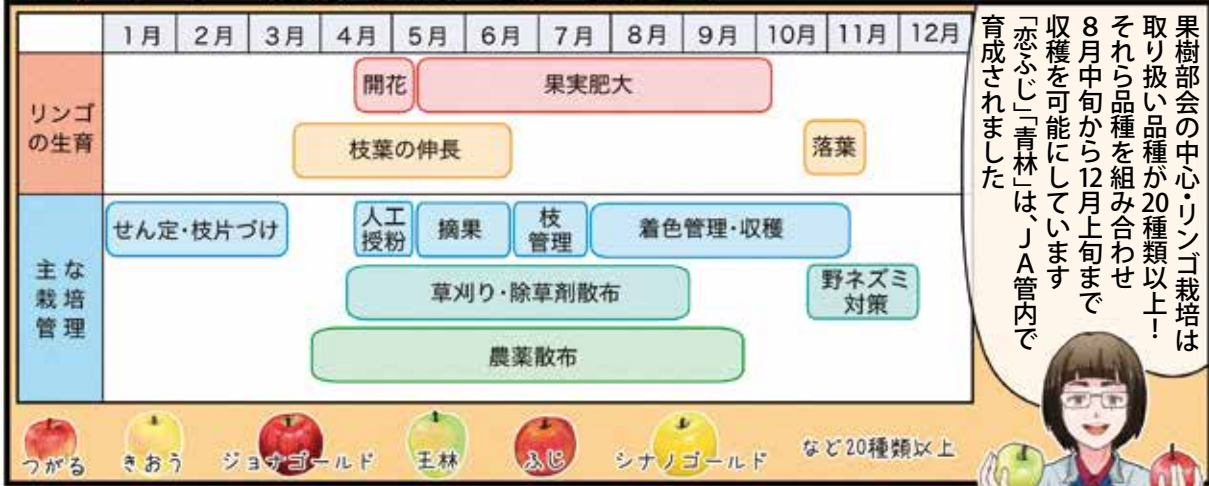


購読をご希望の方は、お近くのJA各営農経済センターへご連絡ください。

果樹は永年性作物、食味重視の おいしいフルーツを生産しています！



主人公の野原拓人さんは、実家の農地を守ろうと就農を決め、Uターンすることになりました。ワンストップ就農窓口で、品目選定に向け相談をしています。今回は、果樹の品目紹介です。



収穫後はJA西部・東部園芸センターで選果し県内、東京、名古屋の市場へ出荷



編集後記

▽秋の収穫作業も終盤を迎え、女性部や青年部、ハートフルなどの組織の活動も活発に行われるようになってきました。中でも、福祉施設などへの慰問活動や草取り作業などのボランティア活動の取材に向くことがあり、「地域のために何かできることを」という会員の皆さんの気持ちを改めて感じる機会となりました。(阿部)

▽憲政史上初の女性首相誕生と新しい連立政権の樹立。日本政治は大きな転換点を迎えています。新農相の鈴木憲和氏は就任にあたり「先の見通せるような農業を実現したい」とコメントしました。「令和の米騒動」にとどまらず、園芸品目や畜産酪農など、あらゆる分野に多くの課題があります。「現場主義」を掲げる鈴木新農相の手腕と今後の動向に注目したいです。(熊倉)

